

介護タク事業適正化が狙い

ジェウント、今夏にシンポ開催

全国の福祉・介護限定タクシー事業者で組織する日本福祉医療輸送機構（JWMTO）ジェウント、関澤敏夫理事長は、自らの事業をアピール・啓もつする

シンポジウムを今夏、東京で開催する意向だ。「介護タクシーの正しいあり方を示したい」と、関澤理事長がこのほど本紙の取材に答えた。

「下がり車両」を使って白タク行為をしたりと、会員事業者から多くの情報を耳にするという。

「自分はしっかりやっているとの思いから、不正が目につくのだろう。取り締まりはほとんどできていない。真面目な人が気の毒」と話す。

関東運輸局には東京、千葉、埼玉などの利用者から、「運賃があまりにまちまち」「領収書をくれなかった」といった苦情が寄せられているという。

福祉輸送独自の運賃制度の創設に向け、国土交通省に要望書を提出するなど動いている中、「今、業界のイメージを落としてはならず、正していきたい。シンポジウムで業界の課題のほか、ジェウントの存在もPRできれば」と強調する。